

平成24年10月14日  
今週のベストショット



青松園A 三友クラブ 対 新町ウインズ戦

最終戦を投げ合い、初回の1失点のみに抑えるも、引き分けた三友クラブ足達、新町ウインズ城戸両投手。

(写真：奈多クラブ 吉田貴史)

青松園A

三友クラブ (3勝9敗1分) 10000 1 足達△-小島

新町ウインズ (4勝7敗2分) 10000 1 城戸△-今林

HR：泉(新町ウ)

一回表三友クラブは、先頭竹岡選手が四球で出塁、送りバントに相手のエラーが絡み二死ながら三塁。ここで4番清原選手がつまりながらもセンター前タイムリーヒットで幸先よく先制。一回裏ウインズは、泉選手が左中間への綺麗に抜いたホームランですかさず同点に追いつく。二回から四回までは互いにチャンスをつくるも一打が出ず両投手の粘りのピッチングが続く。五回表三友クラブは、先頭代打の森野選手が四球で出塁。ここで1・2番が連続の送りバントにて三塁へ進め、途中出場の3番坂本選手のバットに賭けたがショートゴロにて得点奪えず。五回裏ウインズも同じく先頭の9番安藤選手が四球にて出塁、ここから三友クラブ守備の乱れが出てノーアウト満塁。打順もクリーンナップを迎え、ウインズにとっては最大のチャンス到来！しかし、足達投手の前にサード・ショート・サードゴロに倒れ無得点に終わり、ここでタイムアップ。再三によるピンチも両投手の粘り強いピッチングにて得点を与えない一進一退の好投がみられた試合展開であった。しかしながら、ウインズにとっては消化不良ともいえる内容でもあった。(記事：奈多クラブ 吉田貴史)



一回裏、ウインズ泉選手のホームランにて同点に追いつく。



城戸投手の絶妙のコントロールに思わず覗き込む場面も。



最終回、絶体絶命のピンチをしのぐ三友クラブ。



ウインズ最後の頼みの綱、野中選手もサードゴロに打ち取られる。

## 第24週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

10月14日は三苦地区の体育祭があり、1試合が行われました。

青松園Aの三友クラブ对新町ウインズ戦は、息詰まる投手戦。最終回は両チームとも三塁までランナーを進めるもあと一本が出ず、お互いに初回の1点を守りきり、1-1の引き分けで最終戦を終えました。三友クラブ足立投手は5年連続で奪三振王確定、ウインズ城戸投手は今年の成長が伺われます。来年はさらなる飛躍を期待します。

さあ、10月21日で全日程が終了します。

青松園Aではブルーマーリンズ対ジャガーズ、雁レクEではライナーズ対パイレーツ。

特にパイレーツは勝てば10月28日朝7時から行われるプレーオフ進出です。

また、打率首位のライナーズ中口選手（.621）と2位のジャガーズ岩崎選手（.591）の首位打者争いも熾烈です。

中口選手は、最多安打（3本差）、打点王（6打点差）、出塁率（.694現在首位）の可能性、樽野選手も打点王（5打点差）、宇野選手はHR王（3本差）の可能性ががあります。

皆さん今年の総決算です。顔晴って下さい！